

キャリア教育を軸に個々の可能性を伸ばし、 多文化共生社会で幸せに生きる力を育む

静岡県 浜松市教育委員会 教育長 **宮崎 正**

みやざき・ただし 静岡県の公立中学校教諭を経て、静岡県教育委員会人事課人事管理主事、浜松市教育委員会学校教育部次長（教職員課長）、同市立中学校校長、全日本中学校長会副会長等を歴任。2022年1月から現職。

幸せに生きる力の土台となる 4つの力を教育活動全体で育む

本市は、全国の市町村で2番目に面積が広く、工場などが立地する都市部と緑豊かな中山間地域を併せ持ちます。都市部を中心に外国人市民も多く、外国籍の子どもが全児童生徒の約3%を占めており、多文化共生社会^{*1}の実現に向けた施策を推進しています。

そうした地勢などを背景に、2015年から10年間を基本構想とする第3次教育総合計画「はままつ人づくり未来プラン」を策定しました。「未来創造への人づくり」「市民協働による人づくり」を理念とし、計画を各5年の前・後期に分けて取り組んでいます。

2020年度からの後期計画は、「キャリア教育を核とした人づくりの推進」を軸に、キャリア教育で生涯にわたって自分らしく幸せに生きていくための力を育むことを重点としました。各学校では、4つの基礎的・汎用的能力である、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を基に、キャリア教育で

育てたい力を設定し、市独自の「キャリア教育ガイドブック」を活用しながら、教育活動全体で意図的・計画的に取り組んでいます。特に2021年度までは、市内の十数校をモデル校に選定し、実践事例や成果を市全体で共有するなど、キャリア教育の全市展開に向けて取り組みました。

各学校では、キャリア教育の推進役を担うキャリア教育推進教師を中心に、全教員がキャリア教育で育てたい力を意識して取り組んでいます。例えば、教科学習では、今の学びが将来につながるよう、年間指導計画に位置づけて実践しています。2021年度のアンケート調査では、9割以上の教員が育てたい力を意識して指導しているという結果が得られました。また、子どもは、キャリア教育に関する学びや経験を「キャリア・パスポート」のワークシートに蓄積し、それを小学校から中学・高校へとつなげていくことで、自分の成長を感じ取ったり、将来の展望につなげたりしています。

これらの取り組みが評価され、2021年度、文部科学省「キャリア教育優良教育委員会」として表彰されました。

外国につながる子ども^{*2}の学びを ICTを活用して支援

後期計画では、教育の情報化にも重点を置いており、今年度は協働学習での活用が一気に進みました。各学校の授業実践をオンラインで共有する仕組みも整えて、市全体で質の高い授業を支えています。教員研修では、ライブ配信やオンデマンド配信を導入し、ICTを活用した働き方改革にもつなげています。

多文化共生に向けた施策にも、ICTは欠かせません。外国につながる子どもが多く通う小・中学校では、多言語翻訳アプリや多言語翻訳機などを使って、言語の壁を越えて協働学習を行うなど、ICTを駆使した新たな教育活動に挑戦しています。さらに、学習支援や生活指導、保護者への説明等にも、活用の幅を広げています。

外国につながる子どもへの支援は、本市が長年重視している施策の1つです。各学校では、NPOなどの協力を得て日本語指導を充実させており、2019年度から、市立小学校入学予定で日本語がほとんど理解で

^{*1} 国籍や民族などの異なる人々が、地域社会の構成員として、国籍及び社会的文化的背景を認め合い、相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合いながら共生する社会のこと。
^{*2} 国籍を問わず、外国にルーツを持つ子どものこと。外国籍の子どもだけでなく、日本国籍でも帰国子女や日本語を母語としない子ども、無国籍・重国籍の子どもなども含まれる。「外国にルーツを持つ子ども」「海外につながる子ども」などの表現もある。



きない幼児とその保護者を対象に、入学前の「プレスクール」事業を始めました。さらに、2022年4月からは、初めて日本の中学校に編入する中学生が、在籍校での円滑な適応を図るため、「初期日本語指導拠点校」を開設し、重点的な日本語・学習指導を行っています。

外国につながる子どもは、将来のロールモデルが少ないという課題もあります。そこで、保護者を交えて進路や将来について語り合い、一人ひとりのライフコース(成長の道すじ)を考える「進路について語る会」を実施するなど、自分の望むキャリア形成ができるように支援しています。

地域との協働を強化し、他の施策との相乗効果を図る

コミュニティ・スクールも推進中で、現時点で市立小・中学校の約9

割がコミュニティ・スクールとなり、2024年度までに全市立小・中学校に広げる計画です。コミュニティ・スクールの仕組みを通して、保護者や地域住民との連携が深まり、様々な教育活動が充実することで、キャリア教育を始めとした教育施策の効果が、一層高まることを期待しています。

そして、後期計画では、施策の教育効果の検証を重視し、PDCAサイクルを機能させています。一つひとつの施策に関して、子どもや教員の意識の変化、環境や仕組みの進展など、成果指標を設定し、毎年行うアンケート調査などの結果を基に評価・検証し、施策を改善しています。

例えば、キャリア教育に関する施策では、後期計画終了の2024年度末までに、「将来の夢を持っている子どもの割合が90%」を指標の1つにしています。2021年度は80.1%でしたので、目標達成に向けて取り組みを見直しているところです。

教職の素晴らしさを発信して日本の教育をもっと明るく

今後、教育長として成し遂げたいことの1つは、教員不足が社会問題となる中で、教職の素晴らしさを世の中に広めていくことです。中学校の教員や校長を務めていた頃、生徒とともに試行錯誤を重ねながら、同じ目標に向かって進み、生徒の成長を支える役割を果たせたことは、私にとって、これ以上ない財産です。同じ経験を共有した生徒たちが、大人になった今も、私を頼ってくれることをうれしく思っています。

そのような教員の仕事の魅力を現場の先生方とともに社会に発信し、教職を志望する若者を1人でも増やし、日本の教育をもっと明るくしたい。そうした思いを根底に抱きながら、本市の教育施策の充実にまい進していきます。

静岡県浜松市 プロフィール



◎県内で最大の人口を有する政令指定都市。浜松城の城下町、東海道の宿場町として栄えた。自動車・オートバイなどの輸送機器産業、浴衣などの繊維産業、ピアノを始めとする楽器産業の三大産業を中心として、「製造業のまち」「ものづくりのまち」「音楽のまち」として知られる。人口 約79万4,000人 面積 1,558.06km² 市立小・中学校数 小学校97校、中学校49校(学校数には分校を含む) 教職員数 約3,850人 児童生徒数 約6万1,500人 電話 053-457-2401(教育総務課)